

平成17年度国土交通省PFIセミナー
事前質問と回答(札幌会場)

番号	質問	回答
1	PFI事業における官民のリスク分担のあり方についてご教示願いたい	PFI事業における官民間のリスク分担については、「PFI事業におけるリスク分担等に関するガイドライン」(平成13年1月22日 民間資金等活用事業推進委員会)を参考に、事業毎に決定されることとなります。本PFIセミナーにおいては、先進事例等をご紹介する予定であり、全国9箇所のセミナーで使用した資料については、後日、国土交通省ホームページにて公表予定です。併せてご参照頂ければと思います。
2	<p>①PFI事業が増えていると聞きますが、全建設産業投資の何%くらいか。</p> <p>②上記%は普及率としては順調ですか。</p> <p>③PFIが成功した事例、%はどのくらいですか。</p> <p>④北海道の中小企業でも参加可能ですか。</p> <p>⑤PFIに参入しようとしても、PFIの複雑で高いノーハーパーのハードルを超えなければならないように感じていますが、どうでしょうか。</p>	<p>①建設産業投資においてPFI事業が占める割合については把握できておりませんが、内閣府民間資金等活用事業推進室によると、平成17年10月末現在、215事業で実施方針が策定、公表され、具体化が進んでおり、事業費ベースで公共側の負担額の累計が約1兆4千億円とされています。(例えば、第12回民間資金等活用事業推進委員会資料参照)</p> <p>②普及率等については把握できておりませんが、近年、毎年約50件の実施方針が公表されており、合計で1千億円以上の事業が契約されており、着実に、市場及び実施件数が拡大、増加している状況にあります。</p> <p>③PFI事業は、設計、建設、維持管理、運営等、長期にわたる契約となることが一般的であることから、現時点で全体に渡る評価を行ったものはございませんが、既に実施方針が公表された事業の中には、優秀提案価格ベースで約40%のVFMが発現した事業もあり、コスト縮減等の効果がみられております。</p> <p>④北海道を含め、中小の事業者が代表企業、構成員等になるPFIの実施事例は出てきております。個別のPFI事業に係る情報については、実施主体より公表されておりますので、個別にご確認下さい。(例えば、内閣府民間資金等活用事業推進室「地方公共団体におけるPFI次号導入の手引き」にも事例が掲載されております。)</p> <p>⑤PFI事業における民間事業者の選定においては、価格及びその他の条件(事業の効果及び効率性等)により評価されることが多いことから、民間事業者のノウハウを発揮していただくことが重要と考えられ、様々な講習会等を活用するなど、PFI制度に関する情報収集等に努めて頂くことが必要と考えられます。</p>

番号	質問	回答
3	今後、道内でPFIが見込まれる総事業分野や向5カ年程度の事業計画等を知りたい。	今後見込まれる事業については把握しておりませんが、VFMが出る等、PFIに適した事業において活用されるものと認識しております。
4	<p>①PFIマリーナ(ポートパーク、フィッシャリーナ)の望ましい事業方式とスキームは？</p> <p>②国の財政支援とその対象事業の要件は？</p>	<p>①事業方式やスキームについては、事業規模、周辺状況等を鑑み、個別の事業毎に検討することが重要であり、統一的な望ましい事業方式やスキームはございません。国土交通省においては、「国土交通省所管事業を対象としたVFM(バリュー・フォー・マネー)簡易シミュレーション第1次検討」(平成15年10月)において、河川マリーナの検討を行っておりますので、ご参照下さい。当該検討では、BTOとBOTを組み合わせた方式としています。また、実際の事業としては、広島県において、ポートパークのPFI事業が実施されています。</p> <p>②国土交通省においては、PFI事業で整備された公共施設に対し、BTO、BOTともに、一定の審査の経て、補助金を一括公布することは可能との整理を行っており、補助金の交付、無利子貸付等を積極的に行っております。個別制度の要件については、個別の事業窓口(http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/policy/pfi/madoguchi.html参照)にご相談下さい。</p>

番号	質問	回答
5	<p>①地方公共団体においてPFIを導入する場合、どのようなリスクが発生しますか？また、その回避方法は？</p> <p>②地方公共団体においてどのような事業がPFI事業に向いているのですか？</p> <p>③地域企業がPFI事業に参画する有効な方法がありますか？</p>	<p>①想定されるリスクは、調査、設計、用地、建設、維持管理、運営、事業終了の各段階で、遅延、金額超過、瑕疵、事故、自然災害等様々なリスクが想定します。個別の事業内容によって異なるため、事業毎に検討することが重要です。なお、「PFI事業におけるリスク分担等に関するガイドライン」(平成13年1月22日 民間資金等活用事業推進委員会)において、リスク分担等を検討する上での留意事項が示されておりますので、ご参照ください。</p> <p>②PFI事業は、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、財政資金の効率的な使用を図りつつ、官民の適切な役割及び責任の分担の下に、公共施設等の整備等を行うものです。国土交通省所管事業を対象としたVFM(バリュー・フォー・マネー)簡易シミュレーション第1次検討確定版)においては、1)民間事業者のノウハウの保有、2)適切なリスク分担、3)基本計画の存在、4)維持管理・運營業務の存在、5)一定規模以上の事業であること、6)公共サービスの質の向上の可能性について整理することが望ましいとしております。</p> <p>③中小の事業者が代表企業、構成員等になるPFIの実施事例は出てきております。個別のPFI事業に係る情報については、実施主体より公表されておりますので、個別にご確認下さい。(例えば、内閣府民間資金等活用事業推進室「地方公共団体におけるPFI次号導入の手引き」にも事例が掲載されています。)PFI事業における民間事業者の選定においては、価格及びその他の条件(事業の効果及び効率性等)により評価されることが多いことから、民間事業者のノウハウを発揮していただくことが重要と考えられ、様々な講習会等を活用するなど、PFI制度に関する情報収集等に努めて頂くことが必要と考えられます。</p>
6	<p>現状における一番の課題は何か</p>	<p>課題については、「PFI推進委員会中間報告ーPFIのさらなる展開に向けてー」(平成16年6月3日 民間資金等活用事業推進委員会)において触れられており、(1)官民間の適切な責任・リスク分担の実現、(2)事業者選定手続きにおける公平性・透明性と経済性の確保、(3)VFM 評価の客観性・信頼性の向上、(4)いわゆる「イコールフットイング」論、(5)官民間の取引コストの縮減 が課題の大項目としてあげられておりますので、ご参照ください。</p>

番号	質問	回答
7	PFIと市街地再開発事業との併用などの可能性はないのでしょうか。	市街地再開発事業へのPFI方式の活用については、「戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業・仮設店舗整備等事業」において実施方針が公表されております。詳細な内容については、横浜市ホームページ等をご確認下さい。
8	失敗例があれば知りたい。	PFI事業者の破綻により、サービスの提供が一時的に中断した事例として、福岡市が実施主体であるタラソ福岡事業があります。詳細については、「タラソ福岡の経営破綻を越えて～タラソ福岡の適正な推進のために～タラソ福岡の経営破綻に関する調査検討報告書(平成17年5月12日 福岡市PFI事業推進委員会)をご参照下さい。